

議会の活動

平成30年
(2018年)1月
臨時号

広報なごや 市会だより

市会だよりについて

市会だよりとは、市会の諸活動を広く周知することにより、議会への理解と関心を高めることを目的に発行しています。より分かりやすい紙面づくりを目指すため、平成22年6月号の市会だよりから、議員で構成する編集委員会を設置しました。

また、議会の活動に関する情報を市民のために積極的に公開・発信するため、平成23年度から市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしまいいりました。しかし残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められませんでしたので、平成29年度も現時点では年7回の発行を予定しています。

名古屋市会の活動特集

市会だより1月号では、名古屋市会の活動特集として、正副議長からの新年のごあいさつや、市民税5%減税の検証、定例会・臨時会の開催状況、委員会の紹介、インターネット中継、ランス市との姉妹都市提携、名フィルミニコンサート募集などについてお伝えします。

正副議長からの新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。平成30年の年頭にあたり、市民の皆様にご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月には金城ふ頭にレゴランド・ジャパンがオープンし、9月には入場者数の合計が100万人を突破しました。また、10月にはフランス・ランス市との姉妹都市提携の調印がこの名古屋で行われ、イタリア・トリノ市以来12年ぶり、6番目の姉妹友好都市が誕生いたしました。

名古屋駅周辺や栄地区等で再開発が進む中、本年は、3月には名古屋城「金シャチ横丁」のオープン、6月には名古屋城本丸御殿の完成公開が予定されており、名古屋のにぎわいづくり、魅力発信の千載一遇のチャンス之年と言えるのではないのでしょうか。

また、今後10年の間には、2026年に第20回アジア競技大会が当地で開催され、2027年度にはリニア中央新幹線の東京-名古屋間の開業が予定されています。本市においては、時代の大きな転換期を迎えており、今後もスピード感を持って未来につながるまちづくりを進めていく必要があります。

一方で、南海トラフ巨大地震等の発生が強く懸念される中、災害対策は喫緊の課題であります。また、本市においても少子化・高齢化が進行しており、まもなく人口減少に転じることが予想されますが、こうした人口減少や人口構造の変化にも的確に対応していかなければなりません。

名古屋市会といたしましては、こうした状況を踏まえつつ、今後とも議会のチェック機能をしっかりと果たしてまいるとともに、皆様さまざまな声に耳を傾け、市民の視点から今何が必要であるかを見据えた政策立案・政策提言を行い、市民の皆様生命と財産を守り、この地域の活力と元気を一層高めるため、全力を傾けてまいる所存であります。

本年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう、心から祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



名古屋市長
渡辺 義郎
(北区選出)



名古屋副市長
橋本 ひろき
(南区選出)



市民税5%減税の検証

名古屋市では、平成24年度から市民税5%減税を実施しています。昨年11月15日の名古屋市会 財政福祉委員会では、市民税5%減税の検証結果について、市当局から報告を受け、議論しました。市民の皆様にとって関心のある事柄だと思われるので、その概要についてご紹介します。

市民税5%減税の概要

減税の目的

「市民生活の支援」、「地域経済の活性化」、「将来の地域経済の発展」とされています。

減税の方法

個人市民税・法人市民税を対象に、市税条例で定める税率を一律5%引き下げるものです。

減税による市の減収額

平成29年度予算額では117億円余の減収となっています。

平成24年度から10年間、市民税5%減税を継続した場合(「減税あり」)と減税しない場合(「減税なし」)で市内総生産などの経済指標に与える影響について分析

分析結果

(表の数字は10年間の伸び率)

経済指標	「減税あり」	「減税なし」※
名目市内総生産	4.27%	4.58%
名目民間最終消費支出	5.94%	6.50%
企業所得	14.81%	16.50%

※減税分を投資的経費(公共施設を整備するための経費)にあてる場合に、国庫支出金などの特定財源を活用することを考慮に入れる前提での試算結果です。

⇒上記の試算では、5%減税をした場合よりも減税しない場合の方が、いずれの経済指標でも効果的であるという結果でした。

委員会での議論の様子は、インターネット録画中継で視聴できます。(視聴方法は、2・3面をご覧ください。)

名古屋市会における定例会・臨時会の開催状況

名古屋市の議会は、「名古屋市会」と呼ばれています。市会には、年4回開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。市会では、市民の暮らしに直結する市の予算や条例を決めるための議論を行ったり、市政全般についての質問などを行っています。

平成29年における定例会・臨時会の開催状況	審議した案件など
平成29年 2月定例会	2月22日～ 3月23日 平成29年度当初予算の審議など
平成29年 5月臨時会	5月17日～ 5月19日 正副議長の選挙、常任・特別委員会の委員選任など市会の新しい構成の決定
平成29年 6月定例会	6月16日～ 7月4日 平成29年度補正予算の審議など
平成29年 9月定例会	9月11日～10月11日 平成28年度決算の審議など
平成29年 11月定例会	11月21日～12月8日 平成29年度補正予算の審議など



本会議の様子

名古屋市会の委員会の紹介

名古屋市会では、市の仕事を6つに分けて**常任委員会**を設置しています。常任委員会は、定例会や臨時会における条例案や予算などの審査のほか、閉会中も活発に右のような活動を行っています。

また、特定の問題を調査するため、6つの**特別委員会**を設置し、議員全員が常任委員会と特別委員会にそれぞれ1つずつ所属しています。

このほか、市会の運営などについて協議するため、**議会運営委員会**を設置しています。ここでは、名古屋市会の委員会について常任委員会を中心に紹介します。

閉会中における常任委員会の活動

市の仕事のチェック

市が新しい仕事を行う場合などには、市から説明や報告を受けて質問や要望を行い、市の仕事をチェックします。

施設などの調査

市が新しく施設をつくった場合などには、実際にその場所へ行き、状況を調査します。

先進都市などの調査

今後のまちづくりの参考とするため、先進的な取り組みを行っている都市などを調査します。

請願・陳情の審査

請願・陳情として市会に提出された要望について審査を行い、必要がある場合には、市長などにその実現を求めます。



委員会の様子

常任委員会

総務環境委員会

- 第20回アジア競技大会
- 大気環境目標値について議論しました。
- 鳴海工場(ごみ処理工場)
- 名古屋市立大学病院を視察しました。



鳴海工場

財政福祉委員会

- 市民税5%減税の検証(1面参照)
- はつらつ長寿プランなごや2018(案)について議論しました。
- 動物愛護センター
- 東部医療センターを視察しました。



動物愛護センター

教育子ども委員会

- 魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画(第2次)(案)
- なごやアクティブ・ライブラリー構想(案)について議論しました。
- ひばり荘(乳児院・児童養護施設)
- なごや小学校を視察しました。



ひばり荘

土木交通委員会

- 長期未整備公園緑地の整備プログラム(第2次)(案)
- 市バスを県営名古屋空港まで延伸する社会実験について議論しました。
- 東山動物園
- 交通局研修所を視察しました。



東山動物園(ニロロ・マントロニシヤパーニ)

経済水道委員会

- ランス市との姉妹都市提携(4面参照)
- 犯罪被害者等支援条例(仮称)の検討状況について議論しました。
- 名古屋城
- 露橋水処理センターを視察しました。



名古屋城

都市消防委員会

- 大規模災害時受援計画(案)
- 名古屋駅周辺のまちづくりについて議論しました。
- 防災指令センター
- ささしまライブ24地区(名古屋駅南の大規模再開発エリア)を視察しました。



防災指令センター

特別委員会

- 大都市制度・広域連携促進特別委員会
- 防災・エネルギー対策特別委員会
- 産業・歴史文化・観光戦略特別委員会
- 都市活力向上特別委員会
- 公社対策特別委員会
- 安心・安全なまちづくり対策特別委員会

委員会の開会日数(平成28年1月~12月)

	委員会	開会日数
常任委員会	総務環境委員会	40日
	財政福祉委員会	43日
	教育子ども委員会	40日
	土木交通委員会	34日
	経済水道委員会	43日
	都市消防委員会	39日
特別委員会	大都市制度・広域連携促進特別委員会	7日
	防災・エネルギー対策特別委員会	6日
	産業・歴史文化・観光戦略特別委員会	6日
	都市活力向上特別委員会	9日
	公社対策特別委員会	10日
	安心・安全なまちづくり対策特別委員会	9日
	議会運営委員会	31日
	延べ開会日数	317日

名古屋市会の委員会の開会日数は、政令指定都市(20市)中ナンバーワンです。(平成28年実績)

本会議や委員会活動のほか、一部事務組合議会(愛知県競馬組合議会、名古屋競輪組合議会、名古屋港管理組合議会)や愛知県後期高齢者医療広域連合議会にも名古屋市会から選出された議員が所属し、活動しています。

本会議・委員会インターネット中継が視聴できます!

本会議・常任委員会・特別委員会は、インターネットで生中継と録画中継(過去1年分)を行っています。市会ホームページ(市会情報)からアクセスしてください。なお、本会議・委員会の予定は、市会ホームページ(市会情報)に随時掲載しています。ぜひ、ご視聴ください。

名古屋市会 検索

スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。



本会議中継



委員会中継



新議員の紹介

平成29年11月19日に行われた東区補欠選挙でくまざ直記氏が当選しました。くまざ直記議員の所属党派は、立憲民主党名古屋です。同議員は、総務環境委員と防災・エネルギー対策特別委員に指名されました。



ランス市との姉妹都市提携までのあゆみ

昨年10月、名古屋市はフランスのランス市と新たに姉妹都市となり、名古屋市の姉妹友好都市は6都市となりました。名古屋市とランス市が姉妹都市提携に至るまでの名古屋市会のかかわりについて、その一部をご紹介します。

名古屋市とランス市の交流は、美術館同士の交流から始まりました。平成25年10月に、名古屋市とランス市の美術館が、所蔵品の相互貸し出しなどを定めた覚書を締結しましたが、これは名古屋市会公式代表団がランス市を訪問した際に実現したものです。

平成29年に入り、7月には、名古屋市会公式代表団が名古屋市公式代表団とともにランス市長を表敬訪問し、10月の姉妹都市提携に合意しました。(写真左)

10月20日に名古屋市で開催された姉妹都市提携調印式には、渡辺義郎議長・橋本ひろき副議長をはじめとする議員も出席しました。この調印式に先立ち、全議員の出席により本会議場でランス市長一行の歓迎式を行いました。(写真右)



ランス市長を表敬訪問
(H29.7 ランス市役所)



ランス市長一行歓迎式
(H29.10 本会議場)

ランス市は、シャンパンの産地として有名なシャンパーニュ地方の中心都市であり、歴代フランス国王が戴冠式を行ったノートルダム大聖堂をはじめ、3つのユネスコ世界遺産を抱える観光都市でもあります。

今後、文化芸術や観光、食文化など幅広い分野での交流を通じて、名古屋市・ランス市がともに高め合っていくことが期待されます。

名古屋市の姉妹友好都市の紹介

名古屋市の6つの姉妹友好都市について、提携年月の順にご紹介いたします。

① **ロサンゼルス市**(アメリカ)
提携年月:1959(昭和34)年4月



ロサンゼルス街並み

② **メキシコ市**(メキシコ)
提携年月:1978(昭和53)年2月



国立宮殿

③ **南京市**(中国)
提携年月:1978(昭和53)年12月



孫文の陵墓・中山陵

④ **シドニー市**(オーストラリア)
提携年月:1980(昭和55)年9月



オペラハウス

⑤ **トリノ市**(イタリア)
提携年月:2005(平成17)年5月



サン・カルロ広場

⑥ **ランス市**(フランス)
提携年月:2017(平成29)年10月



フジタ礼拝堂



本会議傍聴と名フィルミニコンサート鑑賞 募集のお知らせ



名古屋市会は、2月定例会に先立ち、本会議場において名フィルミニコンサートを開催します。「本会議傍聴」と「ミニコンサート鑑賞」を合わせて募集します。

本会議傍聴のみを希望される方も応募が必要です。

日時 平成30年2月19日(月) 午前10時30分から

場所 名古屋市会本会議場(市役所本庁舎)

演奏曲目 ブリテン/シンプル・シンフォニー 作品4より第1楽章「騒がしいブルー」ほか

応募方法 往復はがきに希望人数(2人まで)・全員の住所・氏名・電話番号を記入し、市会事務局総務課(〒460-8508)までお送りください。(郵便番号と局・課名のみで届きます。)

平成30年1月19日(金)消印有効

お問い合わせ 市会事務局総務課 TEL 972-2083

その他 入場無料。応募者多数の場合は抽選。(複数枚の応募は無効となります。)



昨年のコンサートの様子



編集後記



あけましておめでとうございます。

市民の皆様にご覧いただけるように、できるだけ見やすく、分かりやすい形で市会の情報をお伝えできるような紙面づくりに取り組んでまいります。

これからも市会だより「議会の活動」をご覧くださいませよう、どうぞよろしくお願いいたします。

編集委員一同



編集委員長
北野よしはる
(自民・守山区)



編集委員
土居よしもと
(民進・瑞穂区)



編集委員
沢田晃一
(公明・西区)



編集委員
さしあこ
(共産・緑区)



編集委員
増田成美
(減税・緑区)